

日本学術会議 第三部拡大役員会
(第24期・第15回)
〔第9回理学・工学系学協会連絡協議会〕
議事要旨

1. 日時

平成31年3月28日(金) 10:00~12:00

2. 場所

日本学術会議講堂

3. 出席者

第三部役員	大野 英男	部長
	徳田 英幸	副部長※情報学委員会委員長兼任
	米田 雅子	幹事※土木工学・建築学委員会委員長兼任

日本学術会議 渡辺 美代子 副会長

環境学委員会	副委員長	浅見 真理
数理学委員会	委員長	坪井 俊
物理学委員会	委員長	梶田 隆章
地球惑星科学委員会	委員長	藤井 良一
情報学委員会	委員長	徳田 英幸
化学委員会	副委員長	茶谷 直人
総合工学委員会	副委員長	大倉 典子
機械工学委員会	委員長	藤井 孝藏
電気電子工学委員会	委員長	大西 公平
土木工学・建築学委員会	委員長	米田 雅子
材料工学委員会	委員長	山口 周

理学・工学系学協会連絡協議会メンバー (84学協会)

環境科学会、日本環境変異原学会、日本水環境学会、日本都市計画学会、日本数学会、日本応用数理学会、統計関連学会連合、日本数学教育学会、数学教育学会、日本ホロケーションズ・リサーチ学会、日本物理学会、日本天文学会、日本結晶学会、日本放射光学会、日本地球惑星科学連合、情報処理学会、日本データベース学会、人工知能学会、日本ソフトウェア科学会、言語処理学会、日本化学連合、日本化学会、高分子学会、日本分析化学会、電気化学会、有機合成化学協会、日本セラミックス協会、触媒学会、石油学会、

錯体化学会、化学工学会、応用物理学会、エネルギー・資源学会、日本エネルギー学会、プラズマ・核融合学会、日本音響学会、日本原子力学会、日本品質管理学会、計測自動制御学会、日本騒音制御工学会、精密工学会、日本表面真空学会、日本航空宇宙学会、横断型基幹科学技術研究団体連合、日本船舶海洋工学会、日本応用数理学会、日本計算工学会、日本機械学会、自動車技術会、空気調和・衛生工学会、日本ガスタービン学会、日本トライボロジー学会、日本マリンエンジニアリング学会、日本流体力学会、日本冷凍空調学会、日本ロボット学会、日本設計工学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、計測自動制御学会、日本建築学会、土木学会、都市住宅学会、日本コンクリート工学会、地盤工学会、砂防学会、日本地震学会、日本応用地質学会、日本地すべり学会、日本地震工学会、日本計画行政学会、日本火災学会、地理情報システム学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本材料学会、資源・素材学会、溶接学会、日本鋳造工学会、日本塑性加工学会、日本バイオマテリアル学会、日本工学会

事務局 高橋、柳原、宮本、石尾、中西

4. 配布資料

資料1 理学・工学系学協会連絡協議会／意見シート概要（平成30年3月）

資料2 学術フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状とその将来part2」
ポスター

資料3 提言「学協会に係る法人制度一運用の見直し、改善等について」

参考資料 1 理学・工学系学協会連絡協議会の設置趣旨

参考資料 2 理学・工学系学協会連絡協議会メンバーリスト

参考資料 3 シンポジウム「GDPRに対する日本の学術界の対応」チラシ

5. 議事（学協会との合同開催パート）

(1) 開会の挨拶： 第三部部長 大野英男

(2) 第三部拡大役員会 役員と各分野別委員会委員長の紹介

(3) 理学・工学系学協会連絡協議会・意見シート概要（平成30年3月）振り返り

米田幹事より、資料1に沿って説明があった。

(4) 提言「学協会に係る法人制度一運用の見直し、改善等について」の紹介
米田幹事より、資料3に沿って説明があった。

(5) 学術フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状とその将来 part2」の紹介
徳田副部長より、資料2に沿って説明があった。

(6) 全体議論：学協会をめぐる課題と今後の方策について

学協会が抱える課題としては、

- ・法人化（特に公益法人化）に伴う事務負担の増加
 - ・論文誌の発行費用や法人税、会員数の減少に伴う会費の減収等による苦しい財政状況
 - ・和文論文誌の苦戦
 - ・英文論文誌のインパクトファクター獲得に向けた苦戦
- などが挙げられ、また、日本学術会議に対する要望としては、
- ・協力学術研究団体の規定の見直し
 - ・提言「学協会に係る法人制度一運用の見直し、改善等について」の実現に向けた取組
- などが挙げられた。

（7）閉会

以上